



49年の家づくりで辿りついた「住育の家」

ウイズコロナを生き抜く決め手は**家**!!

「幸せ家族をつくる家」「こわす家」どこが違うの？
住まいで人生を変える、それが「住育の家」です。
読むだけでも、わが家が楽しくなります!

● SDGs 目標に貢献しています

父親から「人の役に立つ人間になれ」と育てられた著者は、祖父・父と教師の家系に育った影響もあり、当然のように小学校教師の道を進み、これぞ天職だと充実した日々を送っていた。その後、建築家の夫と結婚、子育てをしながら家族が毎日笑顔で暮らせる家を作るために幾つもの学校に通い、日々の暮らしの中で検証。1986年に(株)ミセスリビングを設立し、「お母ちゃんの住まい」⇒「住育の家」をオープンハウス、全国・世界各地から1万人を超える見学者が訪れている。「人の役に立つ人間になれ」という父の教えは、「家族を幸せにする家づくり」となり、半世紀をかけて、世界中に増やしてゆく活動へと広がっている。

かもがわ出版
http://www.kamogawa.co.jp/

〒602-8119 京都市上京区堀川出水西入
TEL: 075-432-2868 FAX: 075-432-2869

発注・出荷に関するお問い合わせは 京都・かもがわ出版流通センターまで
〒601-8122 京都市南区上鳥羽北塔ノ本町18
TEL: 075-672-0034

鮫島純子



こんな今こそ「住育の家」を知ってほしい

NHK大河ドラマ「青天を衝け」主人公、新・一円札の顔・渋沢栄一氏の孫、九十八歳、エッセイスト

「住育の家」は、子育てがしやすい、昭和の時代のようなたくましい、いい子が育つ家ですね。家事をしながら子どもたちを見守っていた母親の姿を、私は未来に残すべきだと思っています。

もくじ

- カラーグラビア―目でみる「住育の家」
- 第1章 「住育の家」ってどんな家?
―こんなにも身も心も元気になる家―
- 第2章 「住育の家」で幸せになりました
―「住育の家」に住む家族の声(全国11軒)―
- 第3章 大正、昭和、平成、令和を生き抜いた
九十八歳のポジティブな生き方に学ぶ
―渋沢栄一氏の孫・鮫島純子さんとの対談―
- 第4章 「住育の家」はこうして生まれた
―家づくりにさそった半世紀と未来への夢―
- 第5章 マイホームで家族の夢を叶えよう
―新築・リフォーム大成功の秘訣―
- 第6章 住まいづくりで「コロナ禍の不安社会」に希望をひらく
―今野由梨／河地妙美／阿部常夫／松岡紀雄―

A5版、カラー8頁、本文192頁

注文書

部数
冊

条件・新刊委託

京都・かもがわ出版 注文 FAX: 075-672-0035

幸せ家族には秘密がある
49年の家づくりで辿りついた「住育の家」
宇津崎光代●著

ISBN 978-4-7803-1112-9 C0077 ¥1900E

〔定価〕
1900円＋税